

令和7年度 第1回 丹波市入札監視委員会議事概要

開催日及び場所		令和7年8月14日（木） 柏原自治会館 4階 会議室	
出席者	委員	石原 俊彦 （関西学院大学常任理事・副学長） 山本 晶子 （武庫川女子大学共通教育部教授） 東 泰弘 （弁護士） 世羅 徹 （公認会計士）	
	事務局	細見副市長 上畑技監兼入札検査部長 谷口入札検査室長 西田副 室長兼検査係長 尾松入札係長 足立主幹	
	説明者	営繕課 山本・平野、教育総務課 福垣・上畑、学校教育課 十倉、 こども育成課 西山・澤瀉、市民安全課 藤本、農林振興課 百木・ 岡本・荻野、市民活動課 藤本、水道課 池上・宮本	
内容	1 報告 契約に関する地方自治法施行令の改正内容について	地方自治法施行令の改正が令和7年4月1日に施行され、少額随意契約の基準額を引き上げる措置が講じられた。同時に公平性、公正性、透明性を確保しつつ、行政運営の効率化を目指し、適切な運用となるよう進めていく。	
	2 議事 (1) 令和6年度下半期入札・契約状況の報告 対象期間 令和6年10月1日 ～令和7年3月31日	(建設工事) 入札：87件 落札率：87.54% 契約金額合計：2,078,979千円 (業務委託) 入札：46件 落札率：70.18% 契約金額合計：143,407千円 (物品購入) 入札：22件 落札率：80.06% 契約金額合計：76,475千円 (随意契約) 件数：83件 契約金額合計：7,743,030千円 (指名停止)：1件	
	(2) 抽出事案に係る入札及び契約（手続き等の審議） 対象期間 令和6年10月1日 ～令和7年3月31日	抽出件数：10件 (内訳) 一般競争入札：3件 指名競争入札：3件 随 意 契 約：4件	
委員からの質問・意見		質問・意見	回答
それに対する回答等		別紙1（1～5ページ）	別紙1（1～5ページ）
委員会による意見の具申又は勧告（講評）		別紙2	

別紙 1

質問・意見	回答
抽出事案に係る入札契約手続き等の審議 今回の事案抽出の考え方	別紙 2 のとおり
(1) 制限付一般競争入札 丹営繕工第 2 号 漢方の里総合運動公園テニスコート 整備工事 ① 1 回目の入札で 4 者が全者失格のため打ち切り、2 回目の入札で 6 者のうち 4 者失格となっているが、その原因は何か。また予定価格の設定が適正であったのか検証するため。 ② 物品については、メーカー及び代理店からの見積金額で、定価ではなく市場価格となっているのか。また、積算基準単価の有無の比率は、工事全体でどのくらいか。 ③ 兵庫県土木部の積算基準以外に積算基準や根拠は考えられるのか。	① 1 回目の入札については、兵庫県土木部の積算基準に基づいて積算しており、予定価格は適正であったと考えている。失格者については、競争性が働いた結果、最低制限価格を下回ったと推察される。 2 回目の入札については、設計内容及び仕様を見直している。4 者失格となったが、2 者は最低制限価格から予定価格以下の応札となっており、積算能力の差が出たと考えている。 ② 見積金額は、定価ではなく市場価格に近いものとなっている。また、基準単価の比率は明確ではないが、見積もりのほうが大きいと思われる。 ③ 兵庫県土木部の基準にないものは建築の基準を採用している。
(2) 制限付一般競争入札 丹教総業第 67 号 吉見・三輪統合小学校校舎増築等 工事監理業務 ① 2 者が参加予定だったが 1 者が辞退している。応札者が 1 者しかなかった原因は何か。また、落札率が低い理由は何か。 ② 補正予算は何月か。また、当初予算に計上できなかった理由は何か。 ③ 期間が翌年の 9 月までとなっているが、繰越明許としたのか。 ④ 落札率が低い、工事監理業務は落札率が低くなる傾向にあるのか。	① 発注時期の影響によるものが大きいと考えている。年度当初であれば応札者が増えていたと考える。 また、落札率については、競争原理が働いた結果と考える。 ② 9 月である。県や国の補助金申請手続きが必要なため、補正予算での対応となった。 ③ 繰越明許としている。 ④ 工事監理業務については最低制限価格を設けていないため、落札率が低くなったと考える。

(3) 制限付一般競争入札 丹教総物第 29 号 丹波市立小中学校用物品購入⑨ (視聴覚機器) ①落札率が低い理由は何か。 ②一部商品で納期を延期したとあるが、どのような手続きで延期を認めたのか。また、どれくらいの商品の延期があったのか。	①大量仕入れとなったことにより、卸値の値引きが大きくなったものと推察している。 ②電波法の改正に伴い、駆け込み需要で品薄になり、一部の商品が納期に間に合わないことが判明したため、14 日間延長の変更契約を行った。
(4) 随意契約 丹教学校物第 19 号 GIGA スクールタブレット端末購入 ①巨額な案件であり、100%で落札している理由は何か。 ②プロポーザル方式の採点結果で、2 者の総合評価点が僅差となっているが、どう思われるか。 ③端末の台数が 5,127 台となっているが、市内の小中学生が利用するという理解でよいのか。	①兵庫県教育の情報化推進協議会が取りまとめて、共同調達を行っている。この協議会がプロポーザル方式で業者と価格が決定したことから、予定価格と契約金額が同額となった。 ②2 者の提案したタブレット端末が全く同じものであった。あとは、サービスの付加価値の違いにより僅差になったと思われる。 ③市内の小中学生は 4,600 人ほどだが、補助対象となる予備機を含んだ数となっている。
(5) 随意契約 丹子支工第 8 号 竹山アフタースクール改修工事 ①2 度予算超過のため入札が打ち切りとなっている。その後、随意契約に切り替えて低い価格で落札している。その理由は何か。 ②1 回目、2 回目の入札は何月に行ったか。 ③他の案件で、入札のやり直しや中止になる場合の違いは何か。 ④市内にアフタースクールは何ヶ所あるのか。また、竹山アフタースクールの工事は、今後の安全性や耐用年数も含めた検討のうえで工事を実施したのか。	①入札には最低制限価格を設けており、最低制限価格を下回って失格となったものが 3 者、予定価格を上回ったものが 1 者であった。再入札においては、予算超過のため入札が打ち切りとなった。その後の随意契約では最低制限価格を設けないため、低い価格の落札が可能となった。 ②2 回とも 9 月 17 日に行っている。 ③原則、再入札となるが、随意契約に該当するのか、年度内執行が可能かどうかなど案件内容や状況により異なる。 ④市内にアフタースクールは 20 ヶ所ある。竹山アフタースクールは築 50 年を過ぎており、平成 26 年に被災のあった建物ではあるが、周辺の復旧工事も済

	んでいる。今回の改修工事にあたり災害リスク等の検討はしていない。
(6) 随意契約 丹子支業第 16 号 丹波市アフタースクール運営業務 ①巨額な公募型プロポーザルであるが、1 者だけの参加なのか。競争性を働かせる可能性はなかったのか。 ②指導員は何人いるのか。また、指導員は資格が必要か。 ③今回は市内すべてのアフタースクールを委託したのか。 ④丹波市プロポーザル方式実施取扱要綱で 3 者以上の候補者を選定することとなっているのではないか。 ⑤募集した段階で 1 者しかないという感触があったのではないか。包括で募集したことに無理があったのではないか。規模が大きいため応札が少なかったということはないか。	①公募型プロポーザルを行う前に、受託可能と思われる 4 者にアナウンスをしたが、受託可能エリア外だったことや、提案上限金額を低いと感じられたことなどが、1 者のみの参加となった原因ではないかと考える。 ②指導員は約 80 名で、そのうち 9 割が市内の方である。指導員は、放課後児童支援員の認定資格が必要である。 ③令和 6 年度までは、柏原地域が民間企業、青垣・市島地域が社会福祉法人に委託していた。令和 7 年度からは青垣・市島地域以外の 16 アフタースクールを一括委託している。 ④要綱で定めている 3 者以上必要としているのは指名型プロポーザル方式で、今回は公募型プロポーザル方式である。 ⑤ 3 者は応札いただけるような感触はあったが、金銭的なことや、受託エリア外のため応札できなかったと聞いており、委託規模の影響ではないと考えている。
(7) 指名競争入札 丹く安工第 17 号 防犯灯設置工事（柏原・山南地域） ①旧 6 町を 3 つに区分した理由は何か。また、氷上・青垣地域は失格者が 3 者と多くなった理由は何か。 ②丹波市内に主たる営業所を有する者が 22 者、総合判定による選定は 8 者となっているが、いずれも柏原山南地域の業者か。 ③ 3 地域で実施した入札で複数の入札に参加している業者もあるのか。	①分割発注した理由については、市内の多くの業者に受注機会の確保を図るため、近隣の 2 地域単位で発注した。失格者が 3 者となった理由については、予定価格は適正であったと考えており、各業者の積算能力の差によるものと考えている。 ②いずれも丹波市内に営業所を有している者で、地域を限定した設定は行っていない。 ③複数参加している業者もある。

(8) 指名競争入札 農振委第 26 号 集落内鳥獣生息環境管理業務 ①失格者が多くなった理由と、落札率 98%と高くなった理由は何か。 ②竹林や雑木林の伐採を行って、野生動物の駆除は行っていないのか。 ③今回最低制限価格が 70%となっているが、案件によって違うのか。	①落札率が高くなった理由としては、応札業者 5 者のうち、4 者が最低制限価格を目指した応札を行った結果、最低制限価格を下回り失格となったため、残った予定価格に近い事業者が落札したことにより、高い落札率となった。 ②駆除は行っていない。 ③案件によって 70%から 90%の間で設定している。
(9) 指名競争入札 丹市活物第 10 号 住民センターワイヤレスマイク 更新購入 ①落札率が 58%と低くなった理由は何か。 ②開札結果表中の「無効」とはどんなものか。	①希望小売価格を積算根拠としたが、大量発注となったため、1 個当たりの卸値が大幅に廉価となり落札率が低くなったと推察している。 ②紙入札時の札に不備があったため無効とした。
(10) 随意契約 水施委第 2 号 丹波市水道事業等包括委託業務 ①巨額であり金額の妥当性を含めて検討するため。また、落札者が丹波市ウォーターサービス共同企業体となっているが、所在地が箕面市となっている理由は何か。 ②共同企業体の代表構成員のフジ地中情報株式会社が代表となっているが、構成した理由は何か。また、委託したことにより職員の数が減ってくると思うが、どうされるのか。具体的な計画はあるのか。 ③評価委員の属性はどうなっているか。 ④丹波市プロポーザル方式実施取扱要綱の中では評価の方法、委員会の回数等詳しく決められていないようにあるが、内規のようなものがあるのか。 ⑤評価委員会は何回開催したか。 ⑥評価委員の採点結果の開きが大きいため、採点基準の見直しが必要と思われる	①令和 6 年度以前はそれぞれ個別に発注していた業務を、効率的な事業運営を目的に水道事業の運営に欠かせない業務を一元化した。要求水準書については、繰り返し協議を行い決定したため、契約金額についても適正と考える。受託者は共同企業体で、代表企業の本社所在地が箕面市となっているため。 ②共同企業体の中で決定されたものであるが、代表のフジ地中情報株式会社は長らく当市の水道業務を受託しており、市の業務に詳しいためと判断されたと推察している。 職員数については、令和 6 年度までは 20 名であったが、令和 7 年度から 15 名となっている。軌道に乗れば今後も削減を視野に入れていく予定ではあるが、具体的には決まっていない。 ③技監、上下水道部長、水道課長、下水道課長、大学教授、兵庫県企業庁課長の 6 名である。

かどうか。	④担当課が開催する評価委員会の中で決定している。 ⑤2回開催している。 ⑥結果的には開きが出てしまっているので、得点における採点の考え方や方法など、統一的な基準の元での採点となるよう改善を図りたい。
-------	--

別紙2

委員会による意見の具申又は勧告（講評）
1. 今回の事案抽出の考え方 （1）多数の失格者が出ており、予定価格の適正性に確認が必要な案件。 （2）落札率が低く、予定価格の適正性に確認が必要な案件。 （3）落札率が低く、履行状況に確認が必要な案件。 （4）随意契約の理由等に確認が必要である案件。 （5）応札者が1者のみで、原因や対策に確認が必要な案件。 （6）応札者が少なく、内容や発注時期の適正性に確認が必要な案件。 （7）予定価格が高額であり、プロポーザル方式を選択した根拠に確認が必要な案件。 2. 総括 抽出案件については、総括的に著しい問題はないと判断できる。 3. 今回の指摘事項 委員から指摘のあった給食配送業務のプロポーザル方式をとった理由、全体的なプロポーザル方式の採点基準の見直しや募集期間の延長等、事務局から担当課へ伝達していただくよう意見を付して、今後も適正な事務処理に努めていただきたい。